

## 地元青葉区民まつりで募集広報活動実施



ブースで3DVRを体験する来場者ら



激励に訪れた募集相談員等

(左より)近藤所長、三谷衆議院議員、森川相談員副会長、  
山田市議会議員、小島県議会議員

来年度より募集相談員としてご協力頂く三谷英弘衆議院議員も会場に駆けつけ、海上自衛官の父を持つ三谷議員からは「募集年齢が上がったことを知りました。少しでもお役に立てるよう協力させて頂きます」と温かい言葉を頂いた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も地域に密着した継続的な募集活動を実施し、志願者の獲得に繋げていきたい。募集活動後半戦も所員一丸となって努力していく」としている。

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所(所長 近藤1空尉)は11月3日(土)、「青葉区民まつり2018地域の力と共に進もう心の絆を青葉から」(横浜市青葉区役所駐車場で開催)にて募集広報活動を実施した。

災害派遣のパネル展示の他、神奈川地本に導入された3DVRを地元の青葉区で初お披露目した。ブルーインパルスの飛行を体感出来るとあって、多くの人が足を止め、行列が出る程の盛況ぶりであった。

また、募集相談員3名(森川相談員副会長・山田市議会議員・小島県議会議員)が激励に訪れ、広報官と共に来場者へ自衛隊のPRを行った。募集広報ブースに足を止めて下さった方へ、特別職の国家公務員として働けること、国際貢献や災害派遣で活躍出来ること、多くの職種があり自分の適性に合わせた勤務が出来ること等、迷彩服や制服に身を包んだ広報官と相談員達が自衛隊の魅力について積極的にPRした。

来場者からは「自衛隊にこんな色々なお仕事があると知りませんでした」「息子に自衛隊の話をしてみたいと思います」との言葉があり、多くの方に良い印象を持って頂くことが出来た。

また、募集相談員3名(森川相談員副会長・山田市議会議員・小島県議会議員)が激励に訪れ、広報官と共に来場者へ自衛隊のPRを行った。募集広報ブースに足を止めて下さった方へ、特別職の国家公務員として働けること、国際貢献や災害派遣で活躍出来ること、多くの職種があり自分の適性に合わせた勤務が出来ること等、迷彩服や制服に身を包んだ広報官と相談員達が自衛隊の魅力について積極的にPRした。

来場者からは「自衛隊にこんな色々なお仕事があると知りませんでした」「息子に自衛隊の話をしてみたいと思います」との言葉があり、多くの方に良い印象を持って頂くことが出来た。

## 職場体験で衛生科隊員に緊急時の対応を学ぶ



笛木准尉の説明に真剣に聞き入る学生達



負傷者の搬送要領も参加者同士息を合わせて



笛木准尉の説明に真剣に聞き入る学生達

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 平原1陸尉)は11月8日(木)、横浜市に所在する学校法人横浜学園高等学校で実施された職業別体験学習を支援した。

これは、同校で実施される企業等を含めた合同進路説明会の一環であり、今回は高校1年生14名に対し「自衛官の仕事」としてどのようなこと、「誇り」を持って日々働いているかというテーマのもと、体験学習を通じて学生に伝えようというものである。

当日は、陸上自衛隊横浜駐屯地中央輸送隊健康管理室勤務の笛木准尉を講師に迎え、「緊急時の対応方法」と題し講話を実施した。

前半は資料映像により事例等を含めた説明を聞き、後半はテコ等を想定した①伏せる動作②負傷者の搬送③止血法の3項目について体験した。

当初はやや硬さも見えた学生ではあったが、動きが入ってくると真剣な中にも笑い声が聞こえるようになり、制服姿ではあったが気にすることなくその場に伏せたり、また負傷者を搬送する動作等にパートナーと一生懸命取り組んでいる姿が印象的だった。

最後の質疑応答の時間になると、「自衛隊への入りを教えてください」「自衛隊の仕事に興味があるので、訓練等を見てみたいです」等、既に将来の仕事として考えている学生に頼もしさを感じた。

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所(所長 平原1陸尉)は11月8日(木)、横浜市に所在する学校法人横浜学園高等学校で実施された職業別体験学習を支援した。

これは、同校で実施される企業等を含めた合同進路説明会の一環であり、今回は高校1年生14名に対し「自衛官の仕事」としてどのようなこと、「誇り」を持って日々働いているかというテーマのもと、体験学習を通じて学生に伝えようというものである。

当日は、陸上自衛隊横浜駐屯地中央輸送隊健康管理室勤務の笛木准尉を講師に迎え、「緊急時の対応方法」と題し講話を実施した。

前半は資料映像により事例等を含めた説明を聞き、後半はテコ等を想定した①伏せる動作②負傷者の搬送③止血法の3項目について体験した。

当初はやや硬さも見えた学生ではあったが、動きが入ってくると真剣な中にも笑い声が聞こえるようになり、制服姿ではあったが気にすることなくその場に伏せたり、また負傷者を搬送する動作等にパートナーと一生懸命取り組んでいる姿が印象的だった。

最後の質疑応答の時間になると、「自衛隊への入りを教えてください」「自衛隊の仕事に興味があるので、訓練等を見てみたいです」等、既に将来の仕事として考えている学生に頼もしさを感じた。

## 朝霞駐屯地において「即応予備自衛官志願者訓練研修」を実施



負傷者の搬送要領も参加者同士息を合わせて



笛木准尉の説明に真剣に聞き入る学生達

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 1等海佐 兼本貢祐)は、11月10日(土)、朝霞駐屯地において「即応予備自衛官志願者訓練研修」を実施した。

本研修は、即応予備自衛官任官への志願を検討する女性予備自衛官1名に対して、訓練研修を実施し、制度の理解を深めさせるとともに、訓練出頭に対する不安を除去し、希望部隊の決定と志願を確実なものとするために行った。

当日は、天候にも恵まれ、第31普通科連隊重迫撃砲中隊所属隊員案内の下、即応予備自衛官の訓練の様子を見学し、重迫撃砲の射撃要領について説明を受けた。

参加した志願者からは「重迫撃砲の射撃を行ってみたい」との感想もあり、志願意思を強くしたようであった。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を活用して、即応予備自衛官制度の周知を図り、志願者の確保に繋げていきたい」としている。

自衛隊神奈川地方協力本部(本部長 1等海佐 兼本貢祐)は、11月10日(土)、朝霞駐屯地において「即応予備自衛官志願者訓練研修」を実施した。

本研修は、即応予備自衛官任官への志願を検討する女性予備自衛官1名に対して、訓練研修を実施し、制度の理解を深めさせるとともに、訓練出頭に対する不安を除去し、希望部隊の決定と志願を確実なものとするために行った。

当日は、天候にも恵まれ、第31普通科連隊重迫撃砲中隊所属隊員案内の下、即応予備自衛官の訓練の様子を見学し、重迫撃砲の射撃要領について説明を受けた。

参加した志願者からは「重迫撃砲の射撃を行ってみたい」との感想もあり、志願意思を強くしたようであった。

神奈川地本は、「今後もあらゆる機会を活用して、即応予備自衛官制度の周知を図り、志願者の確保に繋げていきたい」としている。